

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和 8 年度 小・中学校初任者研修 新規採用養護教諭研修（小・中） 新規採用学校栄養職員研修 地区別研修 A 特別支援学校研修

- 日 時：令和 8 年 10 月 7 日（水）9：50～16：15
- 会 場：福島県立ふたば支援学校（双葉郡楡葉町大字井出字上ノ岡 3 3）
- 参加者：小学校教諭 9 名、中学校教諭 16 名、義務教育学校 2 名、養護教諭 1 名 合計 28 名
- 内 容：校舎見学・授業参観・参加実習
講話「特別支援教育について」
研究協議「参観授業及び特別支援学校における教育活動について」

【研修のまとめ】

本日の講義、演習等の内容を踏まえ、初任者として今後、授業実践や研修等に臨むにあたり、以下のことに留意していただきたいと思います。

- 特別支援教育は、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援をすること。本人や保護者の意見を最大限に尊重し、共に考えながら支援の方向性を定めていく姿勢が求められる。
- 地域で共に学び、共に生きる共生社会を目指し、「ダイバーシティ&インクルージョン」の視点をもって学級経営や授業づくりを行うことが重要である。
- 職務を遂行する上で、うまくいかないこともあるが、一人でできなくても他の先生方の支援があれば、「できる」という考えをもつこと。それにより、心理的安全性を保ちながら「みんなで考える」ことを大切にしてい

研修の感想

- 先生の熱心な指導で一つずつ学んでいる姿を見た。教育の奥深さと熱心な指導が大切だと改めて知った。
- 協議でたくさん出てきた言葉が「見通し」だった。子どもの意欲を高めたり、混乱して学びを止めたりしないために、教師が見通しをもつことも大切だと認識した。
- 小学部、中学部共に様々な支援の仕方があり、子どもたちが安心して授業に参加していると感じた。安心がなければ教育が成り立たないと思うので、日頃から子どもとの関わりや成長を考えながら指導にあたっていると感じた。
- 障がいの特性は、その生徒が個人で乗り越えるものではなく、環境を整えることが最優先事項だと捉えて、支援・指導を改善していきたい。

